

ハイキング部だより

第236回

令和5年(2023年)11月5日(日)～ 須磨離宮公園の紅葉を楽しむ

コース: 月見山駅～須磨離宮公園～須磨寺公園～須磨寺～須磨駅(約6キロ)
(注) 離宮公園 入園料 400円 (兵庫県在住者は無料、要証明書)

参加者 18名

11月5日(日)晴、第236回ハイキング実施、参加者18名。今回は、糸賀さんのお孫さん功真君が久しぶりにお母さんと一緒に参加しました。昨年11月の「髭の渡しコスモス園」以来です。来年小学1年生だそうです。

10時15分山陽電鉄「月見山駅」スタート、離宮道を歩いて「須磨離宮公園」へ。須磨離宮公園は、皇室の別荘「武庫離宮」の跡地に整備された都市公園です。武庫離宮は大正3年(1914)に完成、昭和20年(1945)戦災で焼失、神戸市に下賜されました。昭和42年(1967)上皇陛下(当時皇太子殿下)ご成婚記念事業として須磨離宮公園として開園しました。大阪湾が一望できる噴水公園にはバラ園が、秋から冬にかけては植物園を中心にイロハモミジなどの紅葉が楽しめます。

今日は噴水公園で「アミューゼフエスタ須磨離宮公園」が開催されておりフラダンスや沖縄のエイサーなどのイベントが行われおり多くの人が見入っていました。大小の噴水の側を歩いて隧道を抜けジャンボ滑り台を下り連絡橋を渡って植物園に、もみじ道を歩きましたが今年は天候のせいかまだ色づきはじめという状況でした。梅園を通り花の庭園に行きここで昼食、食後総会に備えて「益田市歌」を歌いました。藤原さんが用意してくれた杉良太郎の「ぼけたらあかん長生きしなはれ」も歌いました。その後次の目的地須磨寺へ、敦盛愛用の「青葉の笛」や「敦盛首塚」、「弁慶の鐘」や「義経腰掛の松」などを見たのち商店街を須磨寺駅まで歩いてここで解散しました。



須磨離宮公園の花の庭園に於いて



須磨離宮公園の花の庭園に於いて



須磨離宮公園に向かう



須磨離宮公園噴水広場



ジャンボすべり台



須磨離宮公園観賞温室



須磨離宮公園花の庭園



昼食のあと益田市歌を歌う



須磨離宮公園の紅葉を楽しむ



須磨寺公園の浮御堂



須磨寺の三重塔

第236回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 須磨離宮公園の紅葉を楽しむ ～

日 時:令和5年11月5日(日) 10時 山陽電鉄「月見山駅」集合

コース:月見山駅～須磨離宮公園～須磨寺公園～須磨寺～須磨駅(約6キロ)
(注)離宮公園 入園料 400円 (兵庫県在住者は無料、要証明書)

須磨離宮公園は、皇室の別荘「武庫離宮」の跡地に整備された都市公園です。大阪湾が一望できる開放的な欧風噴水庭園にある「王侯貴族バラ園」で春と秋に約180種4 000株のバラが咲き誇るのをはじめ梅や牡丹、花しょうぶなど四季を通じて楽しめます。秋から初冬にかけて植物園を中心にイロハモミジなど約600本の紅葉が楽しめます。

須磨寺は真言宗須磨寺派の本山で、平敦盛が愛した青葉の笛や弁慶の鐘、敦盛塚や義経腰掛の松など多数の重宝や史跡があり「源平ゆかりの古刹」として全国的に知られています。

{参考}

★須磨離宮公園・自然と調和した歴史ある公園でもみじを観賞
皇室の別荘地「旧武庫離宮」を当時の皇太子殿下(現在の上皇陛下)ご成婚記念事業として整備し、1967(昭和42)年に開設された由緒ある公園。例年11月中旬から下旬頃には植物園を中心にイロハモミジなど約600本の紅葉が見頃を迎える。モミジが色づく花の広場、秋には紅葉のトンネルになるもみじ道、旧岡崎邸宅や和庭園など見どころが豊富。

★見どころ紹介

紅葉の季節には植物園を中心にイロハモミジなど約600本の紅葉がご覧いただけます。見所も多く、花の広場やもみじ道、さらに旧岡崎邸宅と和庭園の共演も見ごたえがあります。

★須磨離宮公園・植物園

紅葉の見ごろ予想 11月中旬～12月上旬『華麗なる一族』のモデルともいわれる岡崎財閥の旧邸宅跡地に造られた、神戸市立須磨離宮公園の東側にある植物園。



須磨離宮公園



須磨寺